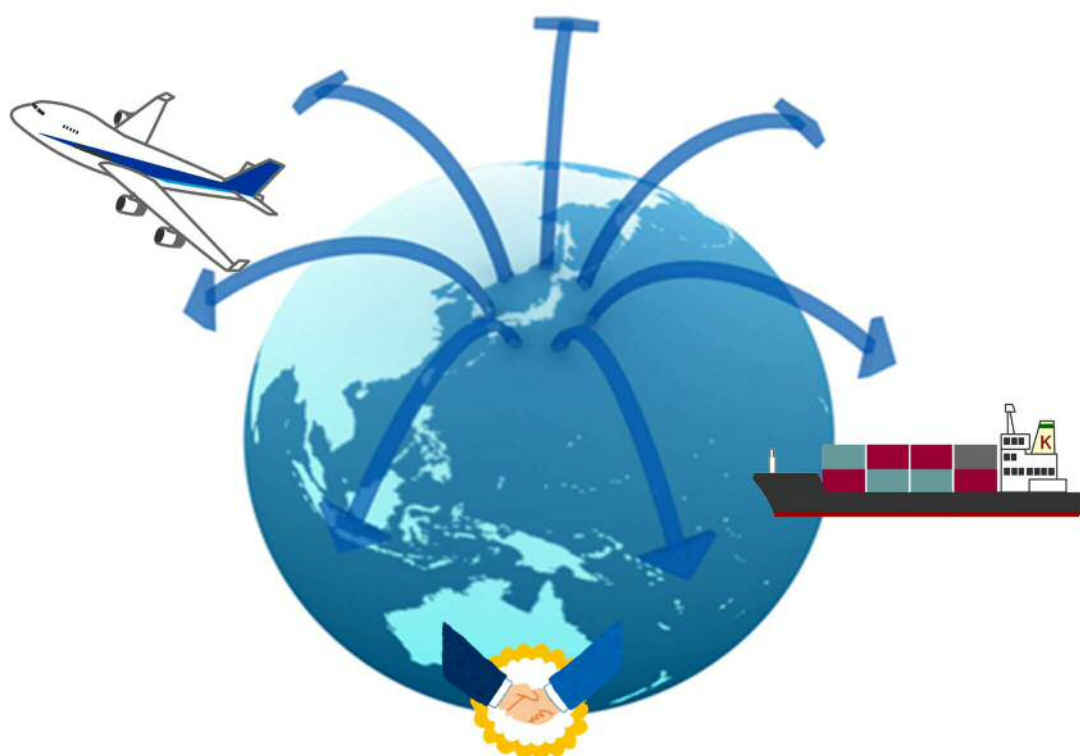


2023. 10

貿易ニュース鹿児島

Kagoshima Trade News



Contents

海外レポート（シンガポール）	1
Information	6
新着図書情報	1 2
外貿港情報（鹿児島港・川内港・志布志港）	1 3
貿易相談のご案内	2 4
通訳・翻訳/メーリングリストのご案内	2 5
新規入会会員募集のご案内	2 6

（別巻）

鹿児島税関支署管内貿易概況（7月）

世界の食マーケットの新潮流～プラントベースフード

鹿児島県 ASEAN ディレクター
シュー・ユエンシャオ・ケナード



コロナ禍が過ぎ去った後、世界中にプラントベースフードが流行り、シンガポールもこの新時代の潮流に乗り、現地ではプラントベースフードの需要が高まっている。いわゆる「プラントベース」とは、動物性の原料を使用せず、植物由来の原料をベースに作られた製品の総称であり、その中心となっているのは食品である。

プラントベースフードは肉や海鮮はもちろん、卵や乳製品やハチミツなども使わない食品となる。その上、厳密にいうと、純植物由来の原料をベースにすることは、肉のエキス（抽出物）や、鰹節、ウール由来のビタミン D3、ラックカイガラムシ由来のコチニール紅色素などの動物由来の食品添加物も使用しない。また、食品以外は衣料品、アパレル、日常用品、コスメやボディケア製品などもあるが、「プラントベース」の主要関連商品は食品がほとんどである。

日本におけるヴィーガンやベジタリアン（菜食主義者）の人口は少ない為、「プラントベースフード」はあまり馴染みのない言葉であろう。また、ベジタリアンといえば、極少数派の偏食の人で、肉の代わりに味の無い大豆ミートや豆腐などの大豆製品ばかり食べるイメージが先行するであろう。しかし近年、シンガポールを含め海外でのプラントベースフードの需要の急増に伴い、様々な植物原料を活かした斬新かつ完成度が極めて高い植物性食品が相次いでプラントベースフードの市場に参入している。

世界各国のフードテックスタートアップ企業から歴史の長い大手食品メーカーまで、大豆、芋、苡蓿、豆、キノコ、玄米などの多様な食材を利用し、次世代の植物性の代替蛋白製品の開発を進めている。この新世代の植物性食品は、代替肉のミンチだけでなく、スライス、ブロック、千切りなどの形もあり、純植物性のサーモンやマグロの刺身や白身フライやいかリング、プラントベース焼き卵やスクランブルエッグやオムライス、プラントベースチーズやバターやチョコレートやアイスなど数えきれないほどの商品がある。この現象を見ると、プラントベースフードは一時的な流行りではなく、この市場は間違いなく継続に大きく成長していくと思われる。



**You can now try the world's first
plant-based yakiniku meat in
Singapore**



プラントベースフードの主要消費者はヴィーガンやベジタリアンと言われており、特に食べ物に起因する肥満や生活習慣病などの健康対策、環境への悪影響を低減する目的、そして動物愛護の観点といった視点から菜食生活を始めたヴィーガンの人数が日々増加している。ワールドアニマルファウンデーションによると、世界には約 8,800 万人のヴィーガンがいる¹。2021 年「私の近くのヴィーガンフード」のグーグル検索数は 5,000%以上増加し、グーグル社いわく画期的な数字である²。また、マーケットリサーチ会社東京エスクによると、2018 年に 3,120 万人の訪日客がヴィーガンまたはベジタリアンである³。ヴィーガンの人数が徐々に増えているが、世界のプラントベースフード市場が著しく成長している本当の理由は、フレキシタリアンの増加である。

フレキシタリアン（フレキシブルなベジタリアン）は、健康や環境の為に積極的に菜食を増やしていこうという意識を持っている人のことである。バランスのよい食生活を送りたいことや、健康状態や年齢に応じた食事を心がけたいといった健康志向や、また近年は、動物愛護の観点や環境意識の高まりと相まってフレキシタリアンの食生活を選択している人が増加している。フレキシタリアンの拡大は今後の食マーケットにおいて注目すべきことである。その為、プラントベースフードはもはやニッチマーケット（隙間市場）にとどまることなく、これから主要なマスマーケット（大衆市場）の一つに変わりゆくと思われる。

食品輸入に頼っているシンガポールでは、コロナ禍とロシアのウクライナ侵略などの事情から食糧のサプライチェーンが大きく影響された。コロナが原因で物流が停滞し、食糧の供給が困難となり、またロシア・ウクライナ戦争の影響で小麦の供給不足から家畜の飼料不足となり、近隣諸国からの豚肉や鶏肉や卵の供給が不安定となり、価格も高騰した。これを教訓にし、シンガポール政府は「30 by 30」という国策を発足し、2030 年までに国の自給率を 30%まで引き上げることを目指す。国土面積が奄美大島と同じぐらいのシンガポールでは、人口が 545 万人（鹿児島県の 3 倍以上）、いうまでもなく農業用の土地がほとんどない。その為、食糧生産の対策として垂直栽培や屋上農園や工場で植物性代替肉などの生産に力を入れている。



¹ <https://worldanimalfoundation.org/advocate/how-many-vegans-are-in-the-world/#There-Are-Approximately-88-Million-Vegans-in-the-World>

² <https://vegnews.com/2021/12/google-searches-for-vegan-food>

³ <https://pawsomeadvice.com/environment/vegan-statistics/>

その結果で、近年、シンガポールではプラントベースフードが急速に普及している。日本も同様であるが、昔のスターバックスは牛乳の代わりに豆乳しかなかったが、今は豆乳の他、アーモンドミルクやオーツミルクのオプションまで増加した。また、大人気のイケアのソフトクリームはコーンまで完全にヴィーガン仕様に変更され（牛乳ベースのソフトクリームは販売中止）、食品販売コーナーもプラントベースの食品が増え、「プラントベースの選択肢が増加すると、環境への悪影響が低減」というメッセージを訴求する。ファーストフードのバーガーキングは季節限定で名物のワッパーのプラントベースバージョンをテスト販売したが、反響が良く、顧客からたくさんのリクエストが殺到することから、プラントベースワッパーを定番化して通常メニューとして提供するようになった。



小売現場では、現地の消費者向けの地元スーパーも、近年プラントベースフードの商品数が急増しており、シンガポール国産のものから、近隣東南アジア諸国で製造されたもの、そして更に遠く日本産品（例：一風堂が製造した植物由来の原料のラーメン）や欧米豪のプラントベース商品も相次いでスーパーの棚に並べられている。スーパーで販売されているプラントベースの品物の種類が幅広く、大豆ミートだけでなく、冷凍食品、レトルト食品、インスタントラーメンやカップラーメン、植物性ミルク（アーモンドミルク、ココナツミルク、豆乳、オーツミルク、玄米ミルク、ひよこ豆ミルク）やバターやチーズやアイスクリーム、お菓子、クッキー、チョコレート、調味料や加工食品等がある。このことから、プラントベース食品の需要が日々増加していることが分かる。



アフターコロナの時代、大型イベントが戻ってきており、食品飲料業界向けアジアで最大級の一つの展示会である FOOD HOTEL ASIA (FHA) は、二年ぶりに 2022 年に再開され、過去の FHA 展示会との違いは、「代替蛋白」という植物性代替肉やプラントベース食品を展示するエリアが増設されたこと。しかも、この代替蛋白展示ゾーンは小さな一角ではなく、三つの展示ホールの中の一つを占めており、国内外から数多いプラントベースフードの企業が B2B と B2C を対象に自社の新商品を紹介している。



このプラントベースフードの波に乗り、2022 年から現地のベジタリアン飲食店とコラボイベントを企画し、2022 年 3 月から 4 月までマザーアースベジタリアンレストラン、10 月から 2 ヶ月間グリーンドットベジタリアンレストランチェーン、そして今年 3 月にまたグリーンドットと共同で鹿児島フェアを開催した。鹿児島市の大玉トマト、指宿開聞のキャベツ、長島のジャガイモ、志布志のカラーピーマン、東串良のアルスメロン、南さつまのきんかん春姫、屋久島のたんかん、奄美の海塩、南九州のお茶、黒酢や鹿児島醤油や麦みそなどの食材を活用したヴィーガンメニューをこれらのベジタリアンレストランで提供し、シンガポールのヴィーガンやベジタリアンやフレキシタリアンを対象に鹿児島県産の食材の魅力を PR した。



今年3月のグリーンドットとのコラボイベントはたくさんの参加者を迎えることができた。来場者に本イベントを通じて鹿児島の魅力を五感で体感してもらったと実感している。特に鹿児島県産の野菜を使用した料理を通じて来場者に本県の野菜の美味しさを存分に味わってもらった。イベント後のアンケートでも野菜がとても美味しかったという意見が多く寄せられた。新鮮な鹿児島県産の野菜や果物を詰め込んだギフトバックも大変好評であり、自宅に帰ってからお野菜を使った料理の写真を送ってくれるなど、イベントの余韻を存分に楽しんで頂けた事が伺える。また、キャベツ農業事業者の大吉氏からの美味しいキャベツの選別の仕方のレクチャーを受け、鹿児島の豊富な土壌で大切に育てられている野菜を実際に見に行きたいという問い合わせも何件もあり、その中、一つの4人組が今年12月7日から1週間鹿児島を訪問することが決まり、本イベントが鹿児島ファン作りのきっかけとなったと強く感じている。

また、このコラボを通じ、グリーンドットの社長が鹿児島に興味を示し、ビジネスチャンスを探る為、今年5月に自費で鹿児島を訪問し、産地視察などを行った。現在、鹿児島県産の抹茶やほうじ茶を仕入れ、グリーンドットのヴィーガンカフェのケーキやタルトに使用している。グリーンドットが出した屋久杉の森をイメージしたタルトは「屋久島タルト」と名付けてくれた。また抹茶ムースケーキの表記にも鹿児島県産有機抹茶を記載してくれている。10月に発売するグリーンドットの季節メニューにも鹿児島県産の黒酢やびわ茶を使用する。



この新規かつ急成長中のプラントベースフード市場は一時的な流行りではなく、確実に大きく成長し、ニッチマーケットから大衆市場に変わっていく。プラントベース事業に取り組むメリットは対象市場が大きいとのこと。食品自体さえ美味しければ、国内外市場にも関わらず、あらゆる食事生活にも関わらず、誰でも受け入れてもらえる。また、訪日インバウンドとつながることから、今まで携わっていないヴィーガンの観光客が訪費し、移動やヴィーガンフレンドリーの食事、体験、宿泊、お土産買いなどを通じ、観光収入として地元の産業と経済に貢献できると考えている。ここで強調したいのは、プラントベースフード市場が従来の一般市場と相互排他的であること。その為、従来の事業を保ちながら、今後主流となるプラントベースフード市場に取り組むべきと考えている。

【Information】

JETRO「【ウェビナー】(品目別セミナー)ベトナムにおけるアルコール飲料市場の現状と輸出のポイントに係る参加者募集」のご案内

輸出重点品目についてマーケットイン情報に基づくセミナーを開催します。今回は、下記のとおりベトナムのアルコール飲料市場をテーマとし、参加者の申込み受付を開始しました。ベトナム向け輸出(アルコール飲料)にご関心のある事業者様はぜひご参加ください。

【日 時】 2023年10月5日(木)16時00分～17時00分(日本時間)

【形 式】 WEB セミナー(ライブ配信) ※使用ツール: Zoom

◆セミナーの概要: 15度以上のアルコールの広告が禁止されており、試飲提供やプロモーションイベント実施が困難なベトナムにおいて、日本企業が実践できる有効なマーケティングPR方法をご紹介します。

【申込締切】 2023年10月2日(月) 12:00

※イベント詳細・お申込み方法

<https://www.jetro.go.jp/events/afg/47d511c44538754a.html>

お問い合わせ 農林水産食品部商流構築課(担当: 池田、小笹、福士)
TEL: 03-3582-8348
E-mail: afg_seminar@jetro.go.jp

JETRO「2023年度農林水産・食品分野常時オンライン商談事業」のご案内

ジェトロ農林水産食品部は、年間を通して随時、海外バイヤーとのオンライン商談会を開催します。商談を募集するバイヤー情報は下記URL出展募集ページ下部のPDF「バイヤーリスト」にて都度更新します。日本産農林水産物・食品の輸出を目指す企業様は是非お申し込みください。

【日 時】 2023年4月3日(月)～2024年3月29日(金)

【開催場所】 オンライン開催

【対象者】 日本産農林水産物・食品を取り扱う企業、農業法人および生産者団体等

【参加条件】 ・オンライン商談を行う体制が整っていること
・参加の条件など各留意事項を理解し、承諾していること

【対象品目】 仕向地で販売可能な日本産農林水産物・食品全般

【参加費】 無料

※詳細、お申込みはこちらから。

<https://www.jetro.go.jp/events/afg/899592a4a82c8bfc.html>

お問い合わせ 農林水産食品部商流構築課
TEL: 03-3582-8348
E-mail: afg_event@jetro.go.jp

【Information】

JETRO「ALPS処理水の処分に伴う輸出等の対策に関する特別相談窓口および各国・地域の動向について
(特設ページ)」

2023年8月22日、日本政府がALPS処理水の海洋放出開始を決定したことを受け、JETROでは、農林水産物・食品の輸出に当たって現地通関や物流等に影響が生じた事業者、新たな海外販路の開拓を目指す事業者等のご相談に対応するため、「ALPS処理水の処分に伴う輸出等の対策に関する特別相談窓口」を本部および全都道府県のJETRO事務所に設置するとともに、JETROのホームページ等を通じて各国・地域の動向について幅広い情報提供を行っています。

※詳細はこちらから。

<https://www.jetro.go.jp/agriportal/alps.html>

お問い合わせ

農林水産物・食品輸出相談窓口 TEL:03-3582-5646

貿易投資相談 TEL:03-3582-5651

大阪 TEL:06-4705-8606

TAITRA「2023年、2024年台湾国際見本市スケジュール」

下記URLにて2023年、2024年の国際見本市スケジュールを配布しております。

2023年 <https://fukuoka.taiwantrade.com/news/detail.jsp?id=70894>

2024年 <https://fukuoka.taiwantrade.com/news/detail.jsp?id=72842>

※日程は変更される場合があります。

お問い合わせ

台湾貿易センター福岡事務所

TEL:092-472-7461 FAX:092-472-7463

E-mail: fukuoka@taitra.org.tw

【Information】

「第5回九州沖縄経済圏スマートフードチェーン事業化戦略会議」の開催について

九州沖縄経済圏スマートフードチェーンプロジェクトにおける取組み及び研究成果について、関係者の皆様方にご紹介する場として、「第5回九州沖縄経済圏スマートフードチェーン事業化戦略会議」を10月5日(木)に福岡市で開催します。今回は来場及びオンライン配信によるハイブリッド方式での開催となります。皆様のご参加をお待ちしております。

- 【開催日時】 令和5年10月5日(木) 13:00～16:30
【開催場所】 福岡市科学館サイエンスホール(定員220名)
(福岡県福岡市中央区六本松4-2-1 福岡市科学館6階)
【開催方法】 来場及びオンライン配信によるハイブリッド方式
【参加費】 無料
【申込締切】 10月2日(月) 13時まで

※詳細はこちらから。

<http://krs.bz/gfp/c?c=377&m=4757&v=e18d4d16>

※申込みはこちらから。

<http://krs.bz/gfp/c?c=378&m=4757&v=029846df>

お問い合わせ

農研機構九州沖縄農業研究センター 研究推進部事業化推進室 霍田・金川

TEL:096-242-7540、7559 FAX:096-242-7543

E-mail: q_smart_entry@ml.affrc.go.jp

「台湾向け輸出水産食品の新規制の概要に関する事業者向け説明会開催」のご案内

2024年1月から施行される、台湾向けに輸出される水産食品に関する新規制について、以下の通り、事業者の皆様向けに2回目の説明会を開催します。現時点でお伝えできる新規制の概要について説明する予定です。参加を希望される方は、2023年10月3日(火曜日)までに以下URLからお申込みください。

- 【開催日程】 2023年10月6日(金) 15時00分～16時00分(予定)
【開催場所】 Web開催(Teams)
【申込締切】 2023年10月3日(火)17時まで

説明会で使用する資料: 追ってこちらのURL

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/hq/i-4/tw2210.html>に掲載します。

参加申込用URL: https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/yusyutu_kokusai/shien/2309.html

説明会参加用URL送付: 2023年10月4日(水)17時まで

(上記URLから申込期限までに参加申込を頂いた方のうち、2023年10月5日(木)12時の時点で、説明会参加用のURLに関するメールを受信されていない場合は、下記「お問い合わせ先」迄ご連絡下さい。

お問い合わせ

農林水産省 輸出・国際局 規制対策グループ(担当: 上條・渡辺・吉田)

TEL: 03-3501-4079

【Information】

「JFSマスター養成研修」開催のお知らせ

令和5年度農林水産省の補助事業として、一般財団法人食品安全マネジメント協会(JFSM)主催の「JFSマスター養成研修」が開催されます。食品安全マネジメント構築の実践的なスキルを有するリーダーを養成するプログラムで、EラーニングによるJFS規格の知識習得、対面またはリモートによる実践スキル習得、最後に確認テストが行われます。研修を修了した方は食品安全マネジメント協会により「JFSマスター」と認定され、修了証が発行されます。ご興味、ご関心がある方はぜひご検討ください。※JFS規格とは、JFSMが運営する日本発の食品安全マネジメント規格です。

■概要

【参加資格】 次のうち、いずれかの要件を満たしていること。

- ・食品安全管理の責任者またはHACCPチームメンバーとしての実務経験者
- ・HACCP3日間研修の修了者
- ・JFS-C内部監査員コース修了者
- ・JFS規格取得プレステージ研修(2023年9月より開講)の修了者及び参加予定者

【参加費用】 無料(1工場につき1名まで参加可)

【日程】 ・JFS規格知識習得編 2023年11月～2024年1月・実践スキル習得編 2024年2月21日

※詳細、お申込みはこちらから。

https://www.jfsm.or.jp/information/2023/230919_000889.php

お問い合わせ

(研修会事務局委託先) SOMPOリスクマネジメント株式会社(担当: 山本、渡邊、佐川)

E-mail: 10_shokuhinteam★sompo-rc.co.jp※メール送信の際は★を@に変更してお送りください。

農林水産省食品製造課 品質管理普及班(担当: 笹島) Tel: 03-3502-5743

JETRO「海外マーケットセミナー」のご案内

この度JETROでは、農林水産・食品分野の海外専門家を講師に迎え、現地市場開拓に役立つヒントや最新マーケット情報をお届けするセミナー(ウェビナー)を開催します。ドイツ、ベトナムへの進出を検討されている事業者様におかれては、現地の状況を知り、今後のビジネスの準備にお役立ていただきたく、ぜひご視聴ください。

<ドイツ編>

【講演題目】 ポストコロナで変化が加速するドイツ市場のトレンド

【配信期間】 2023年9月8日(金)10:00～2023年11月7日(火)10:00

※お申込みはこちらから。

<https://www.jetro.go.jp/events/aff/d874de3097865dd2.html>

<ホーチミン編>

【講演題目】 ベトナム食品市場の今と今後のトレンド予想

【配信期間】 2023年10月20日(金)10:00～2023年12月19日(火)10:00(予定)

※お申込みはこちらから。

<https://www.jetro.go.jp/events/aff/5249fa9a92310ce8.html>

<共通事項>

◇主催: JETRO農林水産・食品市場開拓課

◇参加費: 無料

◇定員: なし

◇開催方式: オンライン開催(オンデマンド配信)

お問い合わせ

JETRO 農林水産食品部 市場開拓課

E-mail: aff-cdr@jetro.go.jp

TEL: 03-3582-5649

【Information】

見本市情報

～国内開催見本市～

開催期間	見本市名	URL
10月4日(水)～ 10月6日(金) 東京ビッグサイト	食品開発展2023 【農林水産・食品、製造・生産技術、品質管理、包装】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/125573
10月11日(水)～ 10月13日(金) パシフィコ横浜(現地・オンライン同時開催)	healthTECH JAPAN 2023 【医療・健康、医薬品、ヘルスケア】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/125518
10月11日(水)～ 10月13日(金) インテックス大阪	第11回 ファベックス関西2023 【農林水産・食品、食品加工、その他の産業用機器・設備】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/127463
10月12日(木)～ 10月13日(金) ビッグパレットふくしま	第12回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア(REIFふくしま2023) 【エネルギー、環境、リサイクルリング】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/128208
10月16日(月)～ 10月18日(水) インテックス大阪	ビューティーワールド ジャパン 大阪 【化粧品、美容関連用品、ヘルスケア】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/126118
10月19日(木)～ 10月21日(土) 岡谷市民総合体育館 / テクノプラザおかや	諏訪圏工業メッセ 2023 【機械・工業技術、金型、工作機械・金属加工】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/126982
10月25日(水)～ 10月27日(金) 幕張メッセ	第14回 Japan IT Week【秋】【情報・通信】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/125603
10月25日(水)～ 10月27日(金) パシフィコ横浜	第11回 国際宝飾展【秋】(通称:秋のIJT) 【宝石、アクセサリ】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/128274
10月25日(水)～ 10月27日(金) 東京都立産業貿易センター浜松町館	TIFFCOM 2023【放送、映像】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/128131
10月26日(木)～ 10月29日(日) インテックス大阪	ツーリズムEXPOジャパン2023【観光・旅行】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/127970

※掲載されている見本市情報(開催時期や内容)は主催者により変更、延期、中止されることがあります。

【Information】

見本市情報

～海外開催見本市～

開催期間	見本市名	URL
11月5日(日)～ 11月10日(金) 中国 / 上海	第6回 中国国際輸入博覧会 2023 【農林水産・食品、医療、機械・工業技術】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/128297
11月6日(月)～ 11月8日(水) 英国 / ロンドン	WTM 2023 - ワールド・トラベル・マーケット 【観光・旅行】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/125891
11月8日(水)～ 11月11日(土) インドネシア / ジャカルタ	シアル・インターフード 2023 【農林水産・食品、食品加工、店舗用設備・機器】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/126186
11月8(水)～ 11月10日(金) 中国 / 上海	FHC Shanghai Global Food Trade Show 2023 【農林水産・食品】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/128398
11月13日(月)～ 11月16日(木) ドイツ / デュッセル ドルフ(現地・オン ライン同時開催)	MEDICA 2023 【医療・病院用機器、医療技術、情報処理】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/127942
11月13日(月)～ 11月16日(木) ポルトガル / リス ボン	Web Summit 2023 【イノベーション・スタートアップ】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/128567
11月13日(月)～ 11月17日(金) アラブ首長国連邦 / ドバイ	Dubai Airshow 2023【航空・宇宙関連機器】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/123857
11月15日(水)～ 11月17日(金) 中国 / 香港	COSMOPROF Asia Hong Kong 2023 【化粧品、美容関連用品、香水、ヘルスケア】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/128229
11月28日(火)～ 11月30日(木) ドイツ / ミュンヘン	ISPO Munich 2023 【スポーツ(用品・施設)、繊維・衣料】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/126898
11月29日(水)～ 12月2日(土) 中国 / 上海 (現地・オンライン同時 開催)	Automechanika Shanghai 2023 【機械・工業技術】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/128914

※掲載されている見本市情報(開催時期や内容)は主催者により変更、延期、中止されることがあります。

新 着 図 書 資 料 情 報

★ここでは、かごしま海外ビジネス支援センターライブラリーで入手した図書を紹介しています。
掲載されている資料は自由に閲覧することができます。

★ライブラリーでは、設置してあるパソコンを自由にご利用いただき、インターネットを使って貿易に関する情報を入手できます。

※セキュリティの為、一部閲覧できないサイトもございます。

★また、図書や資料等の充実を図るため、みなさまからのご要望も受け付けております。
揃えてほしい資料等がございましたら、事務局までご連絡ください。

ライブラリー新着図書(R5.8.21～R5.9.20)

番号	資料名	発行者名	受入年月日
1	TSR情報 2023盛夏特集 鹿児島県版	株式会社東京商工リサーチ	2023/08/21
2	AFCフォーラム 2023.8 夏1号	株式会社日本政策金融公庫 農林水産事業本部	2023/08/21
3	ジェトロ世界貿易投資報告 2023年版 総論編	日本貿易振興機構(ジェトロ)	2023/08/21
4	KER Vol.401	株式会社九州経済研究所	2023/08/21
5	TSR情報 No.2963	株式会社東京商工リサーチ	2023/08/25
6	鹿児島税関支署 管内貿易概況(令和5年7月分)	鹿児島税関支署	2023/09/01
7	Japanese RESTRANT news Vol.32 No.298	All Japan News , Inc.	2023/09/01
8	TSR情報 No.2964	株式会社東京商工リサーチ	2023/09/01
9	台湾情報誌 交流 2023年8月 vol.989	公益財団法人日本台湾交流協会	2023/09/06
10	月刊グローバル経営 9月号 No.471	一般社団法人日本在外企業協会	2023/09/08
11	TSR情報 No.2965	株式会社東京商工リサーチ	2023/09/08
12	商工連ニュース みなみ風 第553号	鹿児島県商工会連合会	2023/09/15
13	TSR情報 No.2966	株式会社東京商工リサーチ	2023/09/15
14	財界九州 10月号 No.1188	株式会社財界九州社	2023/09/19
15	AFCフォーラム 2023.9 夏2号	株式会社日本政策金融公庫 農林水産事業本部	2023/09/19
16	KER Vol.402	株式会社九州経済研究所	2023/09/19

☆☆☆ 鹿児島港（谷山）発着 国際コンテナ航路 ☆☆☆

「鹿児島港国際コンテナヤード」

九州地方港では最大級の冷凍冷蔵輸出入拠点へ

コールドチェーンの拠点として 電源コンテナ保管設備
電源プラグ 60本 対応可能、リーチスタッカーにてCY作業



鹿児島の物流の中心地鹿児島港（谷山）発着 **琉球海運(株)** 運航スケジュール

鹿児島発 毎週木曜日 13時～
高雄発 毎週日曜日 13時～

高雄港着 (所要日数 3日間)
鹿児島着 毎週火曜日 17時着予定



【鹿児島港国際コンテナヤードでの荷役風景】

【ランプウェイ荷役（船内へシャーシで船積み）】

台湾（高雄港）を拠点に、世界各国へ輸出入コンテナのサービスを行います。

【お問い合わせ先】 ㈱共進組 海外営業部 担当 日高 TEL 099-203-0022

鹿児島県鹿児島市谷山港1丁目2-4 “<http://www.kyoshingumi.co.jp/>”

☆☆ 鹿児島港（谷山）発 輸出入国際コンテナドライ混載便ご案内 ☆☆

鹿児島市谷山港を拠点に、全世界輸出入可能な「国際コンテナドライ混載便」を開発。

世界的な混載便業者「イーキューワールドワイド」と鹿児島の港湾業者「共進組」が提携。

鹿児島市谷山のCFS（貨物集積場所）から薩摩川内港を利用した「毎週1便 たとえ1ケースからでもドライ貨物の輸出入が可能なサービス」が実現いたしました。

（輸出は毎週CFS CUT 日 水曜日、薩摩川内港発金曜日定期便、輸入は隔週サービス）

現行遠方の国際港をご利用の皆様、またこれから小口の輸出入のご検討されている皆様方、お見積もり及びリードタイム等、お気軽にお問合せ下さいませようお願い致します。

また、令和3年4月より「薩摩川内港貿易振興協議会」にて「輸出入国際コンテナドライ混載便の補助金制度」が開始いたしました。1荷主1回利用@¥10,000-（年度内受付上限金額10万円 *全体補助金枠内の先着順）となります。下記窓口までお問合せ下さい。

薩摩川内港貿易振興協会（補助金窓口） TEL 0996-25-3300

薩摩川内港より釜山へ船積み



薩摩川内港



谷山港より コンテナにて 薩摩川内港へ ドレー手配



鹿児島（谷山港）にて
混載コンテナに積載



「国際コンテナドライ混載便」のお問合せ先

TEL 099-203-0022

「イーキューワールドワイド株式会社 国際コンテナ混載便 代理店」

㈱共進組 海外営業部 担当 岩下 住所：鹿児島県鹿児島市谷山港1丁目24

薩摩川内港 vol.07

SATSUMASENDAIKOU NEWS ニュース

※川内港は、正式名称として使用する場合を除き、通称として「薩摩川内港」を使用しています。

2023年4月



日特、川内港から輸出へ

スパークプラグの世界的シェアを誇る日本特殊陶業（本社名古屋、日特）は、さつま工場（さつま町）の一部製品の輸出港を川内港（薩摩川内市）に切り替えます。川内港は、さつま工場から35キロほど。20フィートコンテナで年間150個分を出荷する中東とオーストラリア向け製品を同港に回すことで、運送費や時間を削減でき、二酸化炭素の排出量を42トン減らせるということです。今年度からメキシコにも輸出する予定。

2022年9月21日の記念式典には、薩摩川内市やさつま町、県の関係者ら約40人が出席。



ウイスキー輸出本格化 小正嘉之助蒸留所 川内港から欧州へ

日置市の小正嘉之助蒸留所が、欧州向けウイスキーの輸出を本格的に開始する。川内港（薩摩川内市）を利用し、第1便は3月8日に出発しました。2023年3月1日に同社で記念式典が開かれました。

同社は2021年8月に小正醸造（日置市）のウイスキー事業を分社化して発足。これまで欧州へは神戸港（神戸市）から数量限定で輸出していました。事業参入から5年以上が経過し、定番商品を安定供給できる体制が整ったため、川内港へ切り替えることになりました。

同社によると、初便は「シングルモルト嘉之助」（700ミリリットル瓶3千本）です。



外貨コンテナサービス概要について

薩摩川内港における外貨コンテナ航路は、現在3航路週5便体制となっています。釜山港及び神戸港でのトランシップにより、中国、香港、台湾、アセアン諸国などとの接続も可能です。貿易案件がございましたら、ぜひ一度お問合せください。

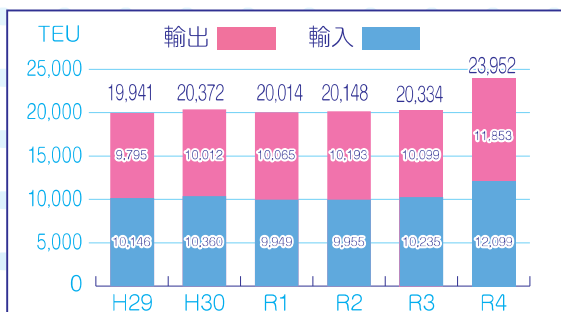
航路	船社	寄航曜日	寄港地
韓国航路 (週2便)	興亜LINE (株) (HEUNG-A LINE)	水	釜山→志布志(月)→長崎(火)→熊本(火) →薩摩川内(水)→八代(木)→伊万里(金)→釜山
		金	釜山→伊万里(水)→三池(木)→薩摩川内(金)→釜山
韓国航路 (週2便)	高麗海運(株) (KMTC)	火	釜山→伊万里(土)→門司(日)→徳山(月) →薩摩川内(火)→釜山(水)→広島(木) →伊予三島(金)→松山(土)→釜山
		水	釜山→長崎(月)→八代(火)→熊本(火) →薩摩川内(水)→釜山
国際フィーダー 航路(週1便)	OOCL・井北海運	日	神戸→薩摩川内(日)→神戸 ※国際フィーダー航路は貨物量に応じて増便

(2023年1月現在)



外貨コンテナ取扱量について

薩摩川内港の令和4年の外貨コンテナ取扱量は23,952TEU（前年比117.8%）となり5年連続で2万TEUを超える実績となりました。引き続き薩摩川内港利用を促進することで、安定したサービス提供を図ります。



	輸 出 取扱量 (TEU)	輸 入 取扱量 (TEU)
平成29年	9,795	10,146
平成30年	10,012	10,360
令和1年	10,065	9,949
令和2年	10,193	9,955
令和3年	10,099	10,235
令和4年	11,853	12,099



*** 薩摩川内港（川内港）から世界へ!! ***

3 航路週 5 便で運航！！

1. 国際定期コンテナ航路について

現在、薩摩川内港には、OOCL による国際戦略港湾（神戸）と結ぶ国際フィーダー航路、HEUNG A LINECO., LTD（日本総代理店・株式会社シノコー成本）、高麗海運（KMTC）による韓国（釜山）航路、3 航路週 5 便の国際定期コンテナ航路が開設されており、安定したサービスを提供しております。

鹿児島県西部地域の企業へのメリットとして、薩摩川内港を利用することによる国内輸送費の削減、OOCL、HEUNG A LINECO., LTD、KMTC のサービスネットワークによる東南アジア／中国／台湾等へのコンテナサービスの利用が可能であり、更に、全世界との物流ルートが確保されます。

■ 航路



航路概要及び船社紹介

3航路 週5便で運航!!

機能充実(ハーバークレーン更新)、利便性向上の薩摩川内港

▶ 運航スケジュール ◀

韓国(釜山)航路 (興亜LINE) HEUNG-A LINE

毎週水曜・金曜 週2便体制

(1便目)
釜山 → 志布志 → 長崎 → 薩摩川内 → 八代 → 伊万里 → 釜山
(月) (火) (水) (木) (金)

(2便目)
釜山 → 伊万里 → 三池 → 薩摩川内 → 釜山
(水) (木) (金)

韓国(釜山)航路 (高麗海運) KMTC

毎週火・水曜日 週2便体制

(1便目)
釜山 → 長崎 → 八代 → 熊本 → 薩摩川内 → 釜山
(日) (月) (火) (水) (金)

(2便目)
釜山 → 伊万里 → 門司 → 徳山 → 薩摩川内 → 釜山
(金) (土) (日) (月) (火) (水)

釜山 → 松山 → 伊三島 → 広島
(日) (土) (金) (木)

国際フィーダー航路

毎週日曜日・週1便体制 (最大週3便)

神戸 ↔ 薩摩川内 (土)

※国際フィーダー航路は貨物量に応じて増便



《 船 社 》

【興亜LINE株式会社】(韓国)
HEUNG - A LINE CO.,LTD.

《 日本総代理店 》

【株式会社シノコー成本】
SINOKOR SEIHON CO.,LTD.
〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目13-10日本橋サンライズビル2F
TEL: 03-3273-4981 FAX: 03-3281-8605

川内港代理店
【日本通運株式会社 川内支店 川内海運事業所】
〒899-1924 鹿児島県薩摩川内市港町360-16
TEL: 0996-31-2521 FAX: 0996-31-2522



《 船 社 》

【高麗海運株式会社】(韓国)
Korean Marine Transport Co.,LTD.

《 日本総代理店 》

【高麗海運ジャパン株式会社】
〒105-0004 東京都港区新橋1丁目18-16
TEL: 03-3500-5055

川内港代理店
【中越物産株式会社】
〒899-1924 鹿児島県薩摩川内市港町字松原360-21
TEL: (0996)26-3335 FAX: (0996)26-3310



《 船 社 》

【OOCL(オリエントオーバーシーズコンテナライン)】(香港)
ORIENT OVERSEAS CONTAINER LINE LTD.
JAPAN BRANCH

《 国内運航 》

【井本商運株式会社】
IMOTO LINES CO.,LTD.
〒650-0035 神戸市中央区浪花町59神戸朝日ビル22F
TEL: 078-322-1600 FAX: 078-322-1620

川内港代理店
【日本通運株式会社 川内支店 川内海運事業所】
〒899-1924 鹿児島県薩摩川内市港町360-16
TEL: 0996-31-2521 FAX: 0996-31-2522

乙仲業務・通関業務

【鹿児島海陸運送株式会社 谷山営業所】
〒891-0131 鹿児島県鹿児島市谷山港3-1-13
TEL: 099-262-0005 FAX: 099-262-0020

株式会社 共進組 外航事務所
〒891-0131 鹿児島県鹿児島市谷山港1丁目24
TEL: 099-203-0794 FAX: 099-260-0795

株式会社 上組 鹿児島支店
〒891-0122 鹿児島県鹿児島市南栄3丁目19-3
TEL: 099-269-4523 FAX: 099-267-7838

運航スケジュール

	曜 日	日	月	火	水	木	金	土
入 港	1 便			1 便	2 便		1 便	
行 先	神戸	—	釜山	釜山	—	釜山	—	

※中国定期コンテナ航路、台湾定期コンテナ航路については、休止中

2. 川内港唐浜地区整備 国直轄事業化

令和3年度、唐浜地区国際物流ターミナル整備が決定し、長さ230m、水深12m岸壁を設置し、岸壁は25年度、全体は27年度完成予定です。

これにより、**3万トン級の原木運搬船、2万3千トン級のコンテナ船**が入港可能となります。

また、平成27年3月には、南九州西回り自動車道の『薩摩川内高江ICー薩摩川内都IC』が開通し、『鹿児島ー薩摩川内水引』間が全線開通したことから、薩摩川内港への交通アクセスが更に充実しました。

川内港初の 国直轄事業化(港湾計画)の概要



国際物流拠点化へ

今回計画での
主な対応

〈物流・産業〉

- ・新たな用地造成、コンテナ・原木を扱う多目的ターミナルの整備
- ・用地造成等とあわせた機能配置の再編、貨物保管機能の拡充
- ・物流機能強化とあわせた原木輸出に係る港湾間連携

〈安全・安心〉

- ・緊急物資輸送、地域産業の事業継続に資する耐震強化岸壁の整備
- ・内港エリアにおける小型船の収容施設の整備

地区名	総事業費	事業区分	施設名	全体数量	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
唐浜地区	160億円	直轄	岸壁(水深12m)(耐震)	230	m							
			航路・泊地(水深12m)	22.0	ha							
			泊地(水深12m)	1.1	ha							
		起債	ふ頭用地	5.0	ha							
			荷役機械	1	基							

暫定供用

3. 薩摩川内港貿易補助金

①補助対象者

川内港において外貿定期コンテナ船（内航フィーダーコンテナ船を含む）又はその他外国船を利用し、外国との商取引を行う企業（個人経営者含む）に対して交付する。

②補助金

新規利用事業者	■コンテナ貨物（1個当たり） 4万円 ■1年度当たりの上限額 80万円
復活利用事業者	■コンテナ貨物（1個当たり） 3万円 ■1年度当たりの上限額 60万円
継続利用事業者	■コンテナ貨物（1個当たり） 2万円 ■1年度当たりの上限額 40万円
リーファコンテナ加算	■コンテナ貨物（1個当たり） 1万円加算
産直港湾農産品加算	■コンテナ貨物（1個当たり） 1万円加算
薩摩國農産品加算	■コンテナ貨物（1個当たり） 2万円加算
新規・継続利用事業者	■バラ貨物（1Kg当たり） 1円 ■1年度当たりの上限額 40万円

※製紙原材料であるチップの貿易活動は対象外となります。

※新規利用事業者：川内港貿易補助金の交付実績のない事業者

※継続利用事業者：前年度及び前々年度に川内港補助金の交付を受けている事業者

※コンテナは20フィート・40フィートに関わらず同額となります。

※薩摩國農産品加算は、薩摩國広域輸出促進協議会を構成する自治体内で収穫、生産又は製造された農産品の輸出を対象とする。

4. 薩摩川内港木材輸出促進補助金

①補助対象者

薩摩川内港を利用して木材を輸出した企業（個人経営者を含む。）に対して交付する。
 なお、川内港貿易補助金との重複受給はできません。

②補助金（常熟港外）

新規利用事業者	■コンテナ貨物（1個当たり） 4万円 ■1年度当たりの上限額 120万円
継続利用事業者	■コンテナ貨物（1個当たり） 3万円 ■1年度当たりの上限額 90万円
新規・継続利用事業者	■バラ貨物（1Kg当たり） 1円 ■1年度当たりの上限額 90万円 ※バラ貨物は1回の貿易行為当たり45万円を上限とし、1年度あたり2回を上限とする
燻蒸加算 （新規・継続利用事業者）	■コンテナ貨物 川内港からコンテナ貨物として輸出される木材のくん蒸に要した費用に対して補助する。50㎡以上のくん蒸1回当たり15万を加する。1年度当たり3回を上限とする。 ※くん蒸箇所は川内港周辺部（薩摩川内市港町）に限る。 ■バラ貨物 川内港からコンテナ貨物として輸出される木材のくん蒸に要した費用に対して補助する。50㎡以上のくん蒸1回当たり15万を加する。1年度当たり2回を上限とする。 ※くん蒸箇所は川内港周辺部（薩摩川内市港町）に限る。

※新規利用事業者：前年度及び前々年度に川内港補助金の交付を受けていない事業者

※継続利用事業者：前年度及び前々年度に川内港補助金の交付を受けている事業者

※コンテナは20フィート・40フィートに関わらず同額となります。

③補助金（常熟港）

新規利用事業者	■コンテナ貨物（1個当たり） 5万円 ■1年度当たりの上限額 150万円
継続利用事業者	■コンテナ貨物（1個当たり） 4万円 ■1年度当たりの上限額 120万円
新規・継続利用事業者	■バラ貨物（1Kg当たり） 1円 ■1年度当たりの上限額 180万円 ※バラ貨物は1回の貿易行為当たり45万円を上限とし、1年度あたり4

	回を上限とする
燻蒸加算 (新規・継続利用事業者)	■コンテナ貨物 川内港からコンテナ貨物として輸出される木材のくん蒸に要した費用に対して補助する。50㎡以上のくん蒸1回当たり15万を加する。1年度当たり3回を上限とする。 ※くん蒸箇所は川内港周辺部(薩摩川内市港町)に限る。 ■バラ貨物 川内港からコンテナ貨物として輸出される木材のくん蒸に要した費用に対して補助する。50㎡以上のくん蒸1回当たり15万を加する。1年度当たり4回を上限とする。 ※くん蒸箇所は川内港周辺部(薩摩川内市港町)に限る。

※新規利用事業者：前年度及び前々年度に川内港補助金の交付を受けていない事業者

※継続利用事業者：前年度及び前々年度に川内港補助金の交付を受けている事業者

※コンテナは20フィート・40フィートに関わらず同額となります。

5. 薩摩川内港製材輸出促進補助金

①補助対象者

薩摩川内港を利用して製材を輸出した企業（個人経営者を含む。）に対して交付する。
なお、川内港貿易補助金及び川内港木材輸出促進補助金との重複受給はできません。

②補助金

新規利用事業者	■コンテナ貨物(1個当たり) 6万円 ■1年度当たりの上限額 180万円
継続利用事業者	■コンテナ貨物(1個当たり) 4万円 ■1年度当たりの上限額 120万円
新規・継続利用事業者	■バラ貨物(1Kg当たり) 2円 ■1年度当たりの上限額 100万円 ※バラ貨物は1回の貿易行為当たり50万円を上限とし、1年度あたり2回を上限とする

※新規利用事業者：前年度及び前々年度に川内港補助金及び川内港製材輸出促進補助金の交付を受けていない事業者

※継続利用事業者：前年度及び前々年度に川内港補助金及び川内港製材輸出促進補助金の交付を受けている事業者

※コンテナは20フィート・40フィートに関わらず同額となります。

6. 小口混載サービス利用促進補助金

①補助対象者

川内港を利用した外資定期コンテナ船を利用する利用運送事業者（第2種）による小口混載サービスを受けた事業者（個人事業者含む）。なお、川内港貿易補助金との重複受給はできません。

②補助金

小口混載利用事業者	■小口コンテナサービス利用（1回当たり）1万円 ※1交付対象者当たり10回まで及び2か年度までを上限とする
-----------	---

7. 川内港農産品輸出促進トライアル補助金

①補助対象者

川内港を利用し、新たに農産品の輸出に取り組む事業者、または、新たな国・地域へ農産品の輸出に取り組む企業（個人経営者を含む。）に対して交付する。なお、川内港貿易補助金との重複受給はできません。

②補助金

補助対象経費	■国内での輸送に要する経費 ■川内港から仕向港への会場輸送に要する経費 ■国内荷役・梱包・保管等に要する経費 ■通関・検疫等の輸出手続きに要する経費
補助額	補助対象経費に1/2とする。ただし、1補助対象者1年度あたり20万円を上限とする。

8. リーファーコンセンートの口数について

440V：25口（令和2年度増設しました）

9. リーファコンセント利用促進補助金

川内港冷蔵・冷凍用電源施設（リーファコンセント）を利用した事業者（個人事業者含む）

リーファコンセント利用事業者	■鹿児島県が請求する冷蔵・冷凍用電源施設（リーファコンセント）料の1/2 ※鹿児島県港湾管理条例で1時間 350 円となっているリーファコンセント使用料1/2 助成することで1時間あたり 175 円とする。
----------------	--

【問い合わせ先】

薩摩川内市貿易振興協会（薩摩川内市国際交流センター内）

TEL・FAX 0996-25-3300

薩摩川内市 経済シティセールス部 産業戦略課

TEL 0996-23-5111（内線5771）FAX 0996-20-5570

■■■ 南九州における国内外との物流拠点 ■■■

1 志布志港について

志布志港は、九州南東部の太平洋に面した**地理的優位性**を有し、また国内有数の農畜産地域である南九州地域を背後地に持ち、南九州地域における国内外との物流拠点、飼料供給基地として、背後地域の産業を支えている重要港湾です。

【志布志港全景】

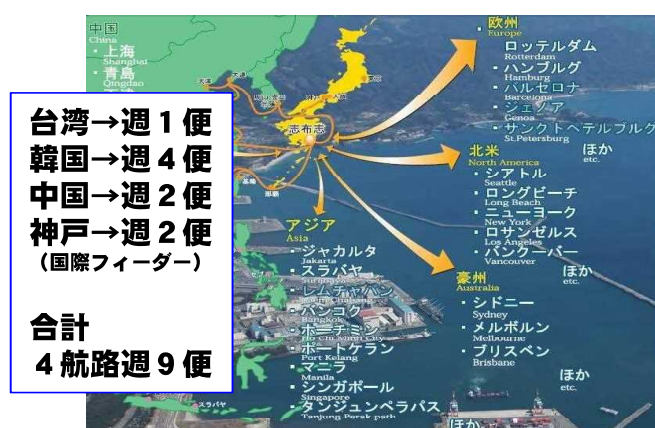


2 定期航路及び港湾施設・志布志港周辺の整備について

志布志港では、現在、外貿定期コンテナ航路が、**中国、台湾、韓国と国際フィーダー航路**を含めた**4航路週9便**体制で就航しており、神戸や釜山でのトランシップにより世界各国と結ばれています。また、大阪、東京、沖縄等を結ぶ内航フェリー・RORO船も充実しております。

国際コンテナターミナルの**岸壁が延伸され、2隻同時接岸による効率的な荷役作業が可能**となりました。また、志布志港周辺においては、東九州自動車道や都城志布志道路の整備ならびに物流倉庫の立地が進むなど**物流機能向上**が図られています。

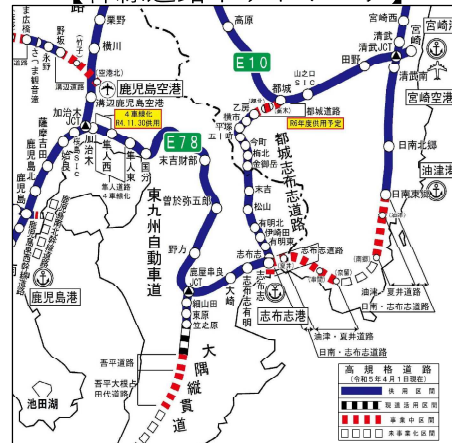
【航路概要】



【国際コンテナターミナル（2隻同時接岸）】



【幹線道路ネットワーク】



3 志布志港の輸出入促進について

・志布志港の更なる利用促進を図るため、「**輸出入促進トライアル事業**」を実施しています。

御活用のほどよろしくお願ひします。

リンク先：

<https://www.pref.kagoshima.jp/ah09/trial/trialtop.html>



**貴社生産の農林水産物・食品等を
志布志港から輸出してみませんか？
（小口混載からも可。）**

志布志港 小口混載 検索

南九州の農林水産物・食品を、
志布志港から世界へ！

志布志港、**冷凍小口混載輸出**
を始めました！！



**輸出を後押しする、
補助金あります！**
(詳細は志布志市HPをご覧ください)

志布志港

令和4年5月に、
小口貨物を混載して、
海外輸出しました！

ぜひ、志布志港から
農林水産物・食品の輸出を
一緒にしてみませんか？

【志布志港から各地への輸送日数】

【小口冷凍貨物】

仕向地(輸出先国)	所要日数
香港港(中国)	11日
シンガポール港	17日
台北港(台湾)	※調整中

【小口ドライ貨物】

仕向地(輸出先国)	所要日数	仕向地(輸出先国)	所要日数
香港港	14日	ロサンゼルス港	30日
高雄港(台湾)	15日	ニューヨーク港	39日
基隆港(台湾)	17日	シカゴ港	47日
バンコク港(タイ)	19日	ロッテルダム港(オランダ)	54日
レムチャバン港(タイ)	22日	サウザンプトン港(イギリス)	55日
ハイフォン港(ベトナム)	17日	ドバイ港(UAE)	38日
シンガポール港	22日	シドニー港(オーストラリア)	36日



※上記の仕向地(輸出先国)は一部であり、**世界160カ国への輸出が可能**です。まずはご相談ください！
～【農林水産物・食品の海外輸出に興味がある場合は、以下の連絡先までご連絡ください】～

【小口混載に関する相談窓口】 イーキューワールドワイド(株) 080-6215-9384

【輸出に関する相談窓口】 志布志市役所 099-472-1111

【輸出全般の相談窓口】 港湾振興係 内線 (251・253) kouwansinkou@city.shibushi.lg.jp

【企業に関すること】 企業立地推進係 内線 (252・254) kigyouritti@city.shibushi.lg.jp

【農産物に関すること】 茶業振興係 内線 (434・431) tyagyousinkou@city.shibushi.lg.jp

【輸出通関手続きに関する相談窓口】

(株)上組志布志支店 099-473-2497 / 日本通運(株)志布志支店 099-472-1121/

東洋埠頭(株)志布志支店 099-472-1771 / (株)山下回漕店 099-472-1401

鹿児島海陸運送(株) 志布志営業所 099-472-7666

志布志港食品輸出小口混載貨物助成事業 (ドライ貨物・冷凍(リーファー又はCA)貨物)

◆事業目的◆

食品等の小口貨物を輸出するニーズの高まりや国が農林水産物・食品輸出目標額を5兆円(2030年まで)に設定(令和2年3月31日)したことを受けて、志布志港発着する外貿コンテナ定期航路、または、国内定期航路を利用する食品の小口貨物をコンテナに混載し輸出する荷主企業に対して、予算の範囲内で輸出に係る経費の一部を助成し、食品輸出の促進を図ることを目的としています。

◆助成内容◆

対象者	要件	助成額
・日本国内に事業所を有し、1年以上事業活動を継続している企業 ・船荷証券(B/L)の出しの荷主企業	・志布志港発着の外貿コンテナ定期航路及び国内定期航路を活用した輸出コンテナ(リーファー及びCA)貨物 ・通関手続きが長崎税関鹿児島税関支署志布志出張所管轄でなされた貨物 ・複数企業によるコンテナ混載の食品貨物(LCL貨物)	・助成額 ドライ:4千円/1RT 冷凍:1万円/1RT ・1コンテナへ混載する助成限度額 ドライ:1万2千円/1荷主 冷凍:2万円/1荷主 ・年間助成金限度額 ドライ:12万円/1荷主 冷凍:20万円/1荷主

◆申請方法◆

混載貨物の荷主が①単独で助成金交付申請を行うか、②他の混載貨物荷主の同意を得て混載貨物荷主の代表者(商社等)として一括して助成金交付申請を行うかの2つの方法があります。

(1)助成金申請に必要な書類

- ・助成金交付申請書(様式第1号)
- ・助成金申請代表者同意確認書(様式第2号) ※荷主代表者による申請の場合
- ・船荷証券(B/L)の写し
- ・輸出許可通知書の写し
- ・輸出小口混載貨物輸送証明書(様式第3号) ※国内定期航路利用時のみ
- ・定款及び法人の登記事項証明書 ※志布志市輸出関連助成金新規利用者のみ

(2)助成金請求に必要な書類

- ・助成金交付請求書(様式第5号)
- ・助成金交付決定通知書(様式第4号)の写し ※当協議会からの決定通知書

【お問合わせ】

〒899-7192 鹿児島県志布志市志布志町志布志二丁目1番1号
志布志港湾振興協議会事務局(志布志市役所 港湾商工課港湾振興係内)
TEL:099-472-1111(内線253) FAX:099-473-2203
MAIL:kouwansinkou@city.shibushi.lg.jp

相談料
無料！！

貿易相談のご案内

(公社)鹿児島県貿易協会では、県内企業等の海外事業展開を支援するため、貿易実務・関税・金融など専門のアドバイザーによる貿易相談を実施しています。

海外との貿易取引に関する基礎知識、輸出入の諸手続き、交渉の進め方、決済の方法、その他海外との取引に関する様々なご相談に応じることにしています。

現在、既に海外との貿易を展開中の方、これから海外貿易を検討したいと考えておられる方などお気軽に貿易相談をご活用ください。

オンラインでの相談も実施しております！！

- 相談日：随時
 - 時間：随時
 - 場所：鹿児島市鴨池新町10番1号
(鹿児島県庁9階 販路拡大・輸出促進課)
※オンラインでの相談可
 - 相談料：**無料**
 - アドバイザー：貿易実業者、金融機関、通関実務者、
商社等からの専門アドバイザーが対応。
 - 相談方法：個別相談
(事前に電話等でご予約ください。)
- Tel：099-251-8484



～アドバイザーのご紹介～

担当	アドバイザー	役職名
実務	弓場 秋信	弓場貿易(株) 代表取締役
通関	梅木 洋一郎	(株)共進組 海外営業部 執行役員部長 通関士
金融	森口 真也	(株)鹿児島銀行 地域支援部 国際ビジネス推進室 室長

翻訳・通訳サービスの御案内

アイエス通訳システムズでは、翻訳・通訳サービスを承ります。貿易協会会員は割引価格（一般の5%引き）で利用できます。

海外への手紙、契約書の翻訳や通訳についてお気軽にお問合せ下さい。

(基準翻訳料金表)				
日本語→外国語		言語	外国語→日本語	
貿易協会会員	一般		貿易協会会員	一般
¥5,700～	¥6,000～ (400字/1頁)	英語	¥3,800～	¥4,000～ (400字/1頁)
¥5,700～	¥6,000～ (400字/1頁)	韓国語	¥3,800～	¥4,000～ (400字/1頁)
¥5,700～	¥6,000～ (400字/1頁)	中国語	¥3,800～	¥4,000～ (400字/1頁)
¥6,175～	¥6,500～ (400字/1頁)	その他	¥4,750～	¥5,000～ (400字/1頁)

一般通訳（英中韓）料金表		
	貿易協会価格	一般価格
1日料金（8H）	¥57,000＋税	¥60,000＋税
半日料金（4H）	¥33,250＋税	¥35,000＋税

【お問い合わせ先】

〒892-0824 鹿児島市大黒町 4-1-2F
TEL：099-227-5173 FAX：099-227-2767
Email: info@ists.jp



メーリングリストの御案内

当協会では、貿易情報を迅速に提供・交換するためインターネットを使ったメーリングリスト（以下「ML」という）を開設しています。

商談会や見本市、セミナー・イベントなどの最新情報等を随時発信しています。

参加登録は随時受け付けておりますので、関心のある方は事務局 (info@kibc-jp.com) までご連絡ください。

（ML とは、リストに参加している全員に同一のメールを同時に一斉配信するインターネットの機能です）

※ご質問等に関しては、当協会アドレス (info@kibc-jp.com) へお願いいたします。

ML に直接返信されるとリスト内メンバー全員に流れてしまいます。

鹿児島県貿易協会新規入会会員の募集

当協会では、新規に入会していただける会員企業を広く募集しております。

鹿児島県下に事務所や事業所を有し、海外との取引に興味のある企業をご存知でしたら、ぜひ事務局までご紹介くださいますようお願いいたします。

貿易協会概要

鹿児島県下に事業所を持つ貿易業及びこれに関連する事業を営む者並びに関係機関・団体等で構成される公益社団法人です。

会員の相互の連携により、海外ビジネス情報の交換、海外市場の調査、海外取引の斡旋、研究発表などを実施し、海外貿易の促進・振興を図り、鹿児島の経済発展に寄与することを目的に活動しています。

【設立】：1957年2月22日

【会員数】：118社（令和5年8月1日現在）

【役員】：会長 塩田 康一

理事 21名

監事 2名

貿易協会の業務

- ① 海外市場開拓の支援
見本市参加、商談会開催
- ② 貿易相談
取引業務や苦情処理など貿易を巡る諸相談
- ③ 貿易講演会等の開催
海外市場等に関するセミナーや講演会
- ④ 貿易刊行物の発行・頒布
貿易ニュース鹿児島、ACCESS
- ⑤ インターネットを活用した情報発信
ホームページ、メーリングリスト
- ⑥ かごしま海外ビジネス支援センターの運営
県内企業・個人に対する海外ビジネスの支援

入会金と会費

【入会金】個人 3,000 円（2 種会員）

団体 3,000 円（1 種・2 種・3 種会員共通）

【会費】1 種会員費・・・団体 30,000 円（年額）

2 種会員費・・・個人 24,000 円（年額）

団体 24,000 円（年額）

3 種会員費・・・団体 50,000 円（1 口あたり/年額）

※1 種会員とは外国航路船舶会社、通関業者、金融機関、役員所属企業など。

※3 種会員とは地方公共団体、商工会議所、商工会の団体。